

## 令和2-3年度 高松盆栽振興事業について

### 〔事業の趣旨〕

香川県高松市は松盆栽生産全国一位の産地であり、EU諸国や台湾などへの輸出が注目されているが、国内需要は長期にわたり低迷しており、海外への輸出促進と併せて、国内需要の拡大が急務である。また、産地の維持・活性化を図るために、後継者育成や生産基盤の強化、盆栽文化の普及・定着活動が重要となる。

このため、盆栽を地域資源としてとらえ、「高松盆栽の郷」基本構想における4つの基本方針「国内需要の拡大」「輸出の拡大」「産地基盤の強化」「高松盆栽の郷づくり」に基づき、各種施策を展開し、高松盆栽のブランド化と産地振興を推進する。

### 1 国内需要の拡大

#### (1) 「高松盆栽の郷」オープニングフェスタ開催支援事業

令和2年4月にJA香川県が開設した「高松盆栽の郷」拠点施設において実施するオープニングイベントに対し支援するもの。

⇒新型コロナウイルス感染拡大のため、開催中止。

#### (2) 高松盆栽広報及び誘客促進事業

雑誌等へ誘客を目的とした記事を掲載し、盆栽の新たなターゲット層を開拓するもの。

⇒令和2年度は、女性向け旅雑誌「OZmagazine」に記事を掲載(3月12日発売)。

⇒令和3年度は、インテリア・ライフスタイル雑誌の編集者等で構成する高松盆栽取材キャラバンチームを結成し、情報発信及びプロモーションを行う予定。

### 2 輸出の拡大

#### (1) 盆栽輸出振興事業

盆栽の輸出拡大を図るため、輸出体制の整備や海外バイヤーと商談会を実施することに対し支援するもの。

⇒新型コロナウイルス感染拡大のため、海外との往来が制限されている状況。

⇒令和2年度は、EU向け黒松の輸出解禁を受け、PR用パンフレットを作成中。

#### (2) 輸出用盆栽に必要な施設の整備

輸出用盆栽の生産に必要な施設・機械(栽培用棚、隔離用網室、土壤消毒機、防除用機械等)の整備に助成するもの。

⇒令和2年度は、実施要望なし。

### 3 産地基盤の強化

#### (1) 育苗・養成に必要な施設の整備

盆栽の素材となる苗木の供給量が減少する中、産地における健全優良苗木の供給体制強化を図るため、施設・機械（栽培管理用ハウス、灌水施設等）の整備に助成するもの。

⇒令和2年度は、実施要望なし。

⇒令和3年度は、1件（育苗用ビニールハウス等）実施要望あり。

#### (2) 盆栽研修生受入事業

令和元年度に整備した研修施設「(株)盆栽の匠」が実施する研修生の募集及び受入事業に対する支援を行うもの。

⇒新型コロナウイルス感染拡大のため、海外研修生の受入はキャンセル。

⇒令和2年度は、研修施設パンフレット及びホームページを作成中。

⇒令和3年度は、盆栽雑誌への広告掲載や展示会でのPRによりの研修施設・制度の周知を行う予定（※オーストラリアの世界盆栽大会は2022年に延期）。

### 4 高松盆栽の郷づくり

#### (1) 「高松盆栽の郷」魅力発信

拠点施設を活用し、高松盆栽の郷の魅力を国内外に発信するための交流活動や観光客向け盆栽体験の実施等に対する支援を行うもの。

⇒令和2年度は、「高松盆栽学校」を新たに開講するとともに、初開催となった「高松盆栽の郷フェスタ2020」について、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、オンラインイベントとして開催した。

⇒令和3年度は、引き続き、JA香川県が実施する「高松盆栽学校」及び「高松盆栽の郷フェスタ2021」に対する支援を行う予定。

#### (2) 研修・交流施設の整備

拠点施設整備に伴う機材等の導入に対する支援を行うもの

⇒令和2年度は、盆栽撮影機材及び体験用盆栽道具一式を導入。

#### (3) 盆栽及び産地の情報発信機能強化

高松盆栽及び産地PRのためのグッズ、ウェブサイト等の作成を支援するもの。

⇒令和2年度は、高松盆栽の郷パンフレット及びPR用パネルを作成したほか、高松盆栽ホームページを拡充（盆栽園追加及び多言語化）しているところ。

⇒令和3年度は、JA香川県が実施する高松盆栽の郷ECサイトの再構築を支援するとともに、高松盆栽ホームページと一体的な運用を目指す予定。